

大谷小中学校だより

NO.9
令和6年12月25日
珠洲市立大谷小中学校

2学期を振り返って～2学期終業式の式辞より～

校長 鎌田 香

私は、この2学期が、こんなに波乱万丈な日々になるとは、思っていませんでした。8月には通水し、水が使えるようになり、通常の生活ができるようになったなと嬉しかったことを覚えています。「さあ、これからだ」と思った時の豪雨災害でした。またか、せっかく復旧してきたのに、地震後に戻ってしまったなと思いました。運動会は延期され、ガチャのデビューもなくなってしまいました。しかし、七転八起、みんなてこの状況を乗り越えることができました。

まず、運動会です。一人一競技を考え、趣向を凝らしたその競技に、地域の方と一緒に楽しむことができました。5人のよさこいも迫力満点でした。季節外れの寒さを吹き飛ばすみんなの笑顔が輝いた一日でした。

次に大谷ガチャです。最初の出品を予定していた正院町のマルシェが豪雨で中止になりました。しかし、道の駅すずなり、東京、金沢とみんなで直接販売し、いずれの場所でも用意したガチャは完売しました。買っていただいた方のアンケートでは、ほとんどの方が商品に満足したことが分かりました。また、あたたかい励ましのお言葉をたくさんいただきました。

文化祭も最高に盛り上がりました。5人の合唱も地域の方々と一体になった合唱も素晴らしく、とても楽しかったです。そして、なんといっても書道パフォーマンスは圧巻でした。皆さんの熱いメッセージが多くの方々の心に届きました。

学習面においても、お年寄りの絵コンクールや俳句、英語のスピーチコンテスト、税の作文コンクールなど優秀な賞をたくさん獲得しました。珠洲市のSDGs学習取組報告会では、前期課程も後期課程も堂々とした発表でした。また、発表の内容も素晴らしいものでした。また、発表後も「人の輪」のプロジェクトや地域の方とのアロマストーンづくりを行うことができました。地域の方々も笑顔になるととても和やかな会になりました。

いろんなことがあった2学期でしたが、「少人数でもできる。少人数だからこそできる。」ことはたくさん作ってきました。大谷小中学校の5人を誇りに思います。

さて、明日から冬休みになります。もしかしたら、さまざまなことを思い出すかもしれません。マイナスな気持ちになるかもしれません。しかし、みなさんは、一年間でここまで歩いてくることができたのです。自信を持ってください。ここから先もみんなで歩いていけます。冬休みがみなさんにとって、良い日々になることを願っています。

最後になりますが、地域の皆様、2学期も多大なご協力をいただきありがとうございました。皆様にとっても、年末年始がよい日々になることを願っています。

3学期の始まりをみんなでそろって迎えましょう。そして、3学期がさらに実りある日々になるように「少数盛栄」でがんばりましょう。



地域の方々に、自分たちの挨拶を評価してもらい依頼をしています。



■ 絵具をありがとうございました。 11月25日(月)

穴水町の角様より、絵具セットをいただきました。本校がまだ断水していることを知り、少ない水で使える絵具セットです。児童生徒は、「とっても使いやすい。」と言って楽しそうに絵を描いています。本当にありがとうございました。



■ ふれあい天文学 11月28日(木)

国立天文台天文情報センターより、渡部潤一様、藤田登起子様、三上真世様の3名の皆様をお迎えし、宇宙についてのお話を聞きました。また、夜空を眺め、自分の目で星を見つけることができるように星座版を作成しました。作成しながら「星座版で、星を見つけたことないんだ。」という児童生徒のつぶやきに対して「見つけた時の感動はすごいよ。ぜひ見てほしいです。」と声をかけてもらいました。天文学者をなさっているのやりがいについても伺うことができました。見送りに来た児童生徒にも気さくに接していただき、心が温かくなった時間でした。

■ 珠洲市 SDGs学習取組報告会 11月30日(土)

ラポルトすずで行われた「珠洲市 SDGs学習取組報告会」では、前期課程は「人が集う場所づくりのために私たちができること」、後期課程は「希望を、まわせ。～大谷ガチャで珠洲市の復興を～」をテーマに発表をしてきました。1月の地震や9月の豪雨災害を乗り越えて、児童生徒が地域と自分たちのつながりなどについて考え学習してきたことをわかりやすく整理し、しっかりと発表することができました。

緊張したとは思いますが、大勢の観客の前でステージに立って堂々と発表するみなさんをとても頼もしく、誇りに思いました。他の小学校・中学校の発表も大変興味深く、とても良い学び合いの場となりました。今後は、この発表会で提案した、人の輪・地域の方とのアロマストーン作りを実行していきたいです。



1月 行事予定

1	水		11	土		21	火	
2	木		12	日		22	水	スキー体験学習
3	金		13	月		23	木	スキー体験学習
4	土		14	火	GTEC(8&9年)	24	金	英語検定(1次)
5	日		15	水	街頭指導 職員会議	25	土	
6	月	安全点検	16	木	薬物乱用防止教室(6限)	26	日	
7	火		17	金	GTEC Jr.(6&7年) 校内百人一首大会	27	月	
8	水	街頭指導 始業式 校内書初め大会	18	土		28	火	
9	木	第2回学力テスト9年 ベネッセ学カテスト	19	日	珠洲市民百人一首かるた大会 (飯田公民館)	29	水	委員会
10	金	第2回学力テスト9年 ベネッセ学カテスト	20	月	理科重要語句コンテスト	30	木	
						31	金	集会





■ 人の輪 12月3日(火)

これまで児童生徒やボランティアの皆さんで作ってきた「大谷ガチャ」を地域の皆さんと一緒につくる企画が行われました。最初はまばらだった教室も噂を聞きつけて避難所からたくさんの方が来てくださり、大賑わいとなりました。

つくる上で気をつけることを1つ1つていねいに説明しながら、一緒に作りました。また、取材に来てくださった方にあいさつしたり、お茶を出したりと気の利いた行動も見られました。おかげさまで、目標にしていた個数を上回ることができ、皆さんともコミュニケーションをとることもできて、充実してほっとした時間を過ごすことができました。



■ 舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演) 12月6日(金)



この日は、文化庁による舞台芸術等総合支援事業として、演劇集団「円(えん)」の方々が来校されました。午前中は前期課程の児童2人とワークショップを行い、劇中のセリフなどを考え、練習しました。午後は、2人も出演し「おばけりんご」(谷川俊太郎作)の公演が行われました。地域の方々も一緒に観劇をし、楽しい時間を過ごすことができました。2人の演技も素晴らしかったです。円のみなさんの演技はもちろん、手具を使っの効果音や、キーボードを使っのミュージカル仕立てのセリフなど、素晴らしいアイデアにも感心しました。「とっても素晴らしい感性のお子さんたちですね。」と言われ、うれしい気分になりました。



■ ミニビブリオバトル 12月10日(火)

6回目を迎えたミニビブリオバトル。今回は、3人とも先生方の出場となりました。直川先生、宮原先生、小町先生がそれぞれご自身の感銘を受けた本を紹介してくださいました。特徴や魅力をわかりやすく解説し、もちろんオチは言わずに「読みたい!」と思わせるところがさすがでした。どの先生に投票しようか迷った人も多かったのではないかと思います。アカデミックな気分になれる本校自慢のひとつです。来年1月からは、再び児童生徒の登場となります。楽しみです。



■ プロボクサーによる授業 12月19日(木)

IBF 女子世界アトム級王者、第2代及び第4代 OPBF 女子東洋太平洋ミニフライ級王者の花形冨美(はながた さえみ)さんが来校されました。ご自身の経験を語り、夢を実現させるために必要な3つの大切なこと「自分を口に出して言うこと」「失敗をおそれずチャレンジすること」「あきらめずに続けること」を話してくださいました。また、実際にボクシンググローブを付けての実践やチャンピオンベルトを見せてくださいました。帰りには大谷ガチャをまわして行かれました。



表彰 おめでとうございます!

【県PTA三行詩コンクール】

佳作 川端 駿介

【読書感想画コンクール】

小学校の部

自由図書 特選 村上 アメティス

指定図書 入選 川端 晃史

中学校の部

自由図書 入選 川端 美冬

指定図書 入選 水上 しゅり

【子ども美術展】

川端 晃史 村上 アメティス

水上 しゅり 川端 美冬 川端 駿介

【市スプリングコンテスト 表彰】

水上 しゅり 川端 美冬 川端 駿介

玄関先の門松です。 → → → →
小木校務員さんに作っていただきました。



アニバーサリー反応について

大震災から1年目の節目が近づいてきました。ここ最近、悲しい気持ちや苦しい気持ちを思い出すことが良く方も多くおられると思います。災害や事件、事故の1年後などの節目の時期になると、いったんおさまっていたことや体の反応が、再び現れることがあります。それを「アニバーサリー(記念日)反応」と呼びます。このような反応は、人によって程度の違いはありますが、大人も子どもも関係なく誰にでも起こりうることです。決して異常なことでも、心が弱いということでもありません。

起こりやすい反応	
<input type="checkbox"/> 緊張する、落ち着きがない、眠れない	<input type="checkbox"/> 怖い夢を見る
<input type="checkbox"/> そわそわする、いらいらする、勉強に集中できない	<input type="checkbox"/> ニュースを見たくない、その話を聞きたくない
<input type="checkbox"/> 怒りっぽくなる	<input type="checkbox"/> その場所をさける
<input type="checkbox"/> 普段よりよくしゃべる	<input type="checkbox"/> ボーっとしていることが多い
<input type="checkbox"/> 思い出してつらい、ドキドキする	<input type="checkbox"/> マイナスの考えや自分を責める考えが浮かぶ
<input type="checkbox"/> 思い出したくないのに思い出す	



4つの大丈夫



1.『よくあるから大丈夫』

人によって出る反応や程度は違いますが、節目が近づくと何かしらの反応がでるのは当たり前のことです。これらの反応は誰にでも起こりうるものなので、変なことでも恥ずかしいことでもありません。自分を責める必要も全くありません。

2.『一時的だから大丈夫』

いったんおさまっていたのに、またぶり返してしまうと「もうこのままずっと治らないのでは…」と不安になりますが、多くの場合、短期間で反応は収まります。もしも長く反応が続くことがあれば、周りの人や医療機関に相談しましょう。

3.『楽しんで大丈夫』

大きな被害があったから、その日は楽しんではいけないんじゃないか、イベントも楽しんではいけないんじゃないか、日常すら楽しんではいけないんじゃないか…と思う必要は全くありません。思いっきり楽しんで大丈夫です。その楽しい時間をぜひ大切にしてください。

4.『一人で抱え込まなくて大丈夫』

不安な気持ち、怖い気持ち、悲しい気持ちを自分一人で抱え込まなくて大丈夫です。周りの人に伝えて、大丈夫です。また、報道される機会が増えるため、映像を見るのが辛ければチャンネルを変えたり、OFFにするのもいいです。自分のペースで調整していきましょう。

